

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2006-204647(P2006-204647A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-22361(P2005-22361)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月18日(2008.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンを複数備え、前記複数のレーンにおいて物品を払い出すタイミングを同期させて物品を払い出すか、1つのレーンのみを用いて物品を払い出すかを選択可能であり、1つの積層物品列における物品が空となった場合に、同レーンの物品を収納する他の積層物品列を払い出し可能な位置に移動して払い出しを行う物品払出機であって、

1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、払い出し動作を選択する払出動作選択手段と、

前記払出動作選択手段により選択された動作に基づいて、所定のレーンの積層物品列に積層された物品を払い出す物品払出手段と

を備えたことを特徴とする物品払出機。

【請求項 2】

前記払出動作選択手段によって選択される動作が、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであることを特徴とする請求項 1 記載の物品払出機。

【請求項 3】

前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づくものであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の物品払出機。

【請求項 4】

前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づくものであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の物品払出機。

【請求項 5】

物品を払い出し不可能な状態のレーンを、物品を払い出し可能な状態に移動するレーン移動装置が複数の移動部から構成される場合において、前記所定条件は、作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別によるものであることを特徴と

する請求項 1 または 2 記載の物品払出機。

【請求項 6】

同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンを複数備え、前記複数のレーンにおいて物品を払い出すタイミングを同期させて物品を払い出すか、1つのレーンのみを用いて物品を払い出すかを選択可能であり、1つの積層物品列における物品が空となった場合に、同レーンの物品を収納する他の積層物品列を払い出し可能な位置に移動して払い出しを行う物品払出機の物品払出方法であって、

1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、払出動作選択手段が払い出し動作を選択する払出動作選択ステップと、

前記払出動作選択ステップで選択された動作に基づいて、物品払出手段が所定のレーンの積層物品列に積層された物品を払い出す物品払出ステップと

を備えたことを特徴とする物品払出方法。

【請求項 7】

前記払出動作選択ステップにおいて選択される動作が、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであることを特徴とする請求項 6 記載の物品払出方法。

【請求項 8】

前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づくものであることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の物品払出方法。

【請求項 9】

前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づくものであることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の物品払出方法。

【請求項 10】

物品を払い出し不可能な状態のレーンを、物品を払い出し可能な状態に移動するレーン移動装置が複数の移動部から構成される場合において、前記所定条件は、作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別によるものであることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の物品払出方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために、本発明の物品払出機は、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンを複数備え、前記複数のレーンにおいて物品を払い出すタイミングを同期させて物品を払い出すか、1つのレーンのみを用いて物品を払い出すかを選択可能であり、1つの積層物品列における物品が空となった場合に、同レーンの物品を収納する他の積層物品列を払い出し可能な位置に移動して払い出しを行う物品払出機であって、1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、物品の払い出し動作を選択する払出動作選択手段と、前記払出動作選択手段により選択

された動作に基づいて、所定のレーンの積層物品列に積層された物品を払い出す物品払出手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この発明によれば、払出動作選択手段において、1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、物品の払い出しに費やす時間が短くなる、つまり払い出しを早く行うことができる払い出し動作を選択することができる。また、レーンには、複数の積層物品列を直線的に配置して構成されたもの以外にも、例えば、ドラム式の外周部に複数の積層物品列を配置して構成されたものであってもよい。また、物品として、例えば、遊技ホールなどで遊技媒体と交換される特殊景品などが挙げられる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明の物品払出機は、前記払出動作選択手段によって選択される動作が、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

この発明によれば、払出動作選択手段によって選択される動作が、払い出し不可能な状態のレーンが払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであるので、物品の払い出しに費やす時間が短くできるいずれかを選択して、物品の払い出し動作を実行することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の物品払出機において、前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づくものであることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。この移動段階は、例えば、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンが、物品の払い出しを可能とするために移動している場合における、複数の区分された段階である移動段階、すなわち、移動モード、移動させている駆動機構の種別、移動している積層景品列の種別、移動位置、およびレーンを移動させるステッピング駆動モータなどのステップ数などに基づいて判定される。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

さらに、本発明の物品払出機において、前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づくものであってもよい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。この移動時間に基づく選択は、例えば、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンが、払い出しを可能とするために移動している場合における、予め設定された全移動時間に対して、どの程度の移動時間をすでに費やしたかなどに基づいて行われる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

例えば、予め設定された全移動時間に対して、すでに半分以上の移動時間を費やしている場合には、このレーンが物品を払い出し可能となるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行う設定の払い出し動作が選択される。また、例えば、予め設定された全移動時間に対して、まだ半分にも満たない移動時間の場合には、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行う設定の払い出し動作が選択される。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、本発明の物品払出機は、物品を払い出し不可能な状態のレーンを、物品を払い出し可能な状態に移動するレーン移動装置が複数の移動部から構成される場合において、前記所定条件は、作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別によるものであることを特徴とする。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするために作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。例えば、現在移動している移動部の種別に基づいて、物品の払い出しを可能とするための移動状況が把握され、例えば、所定の移動部が作動している場合には、移動前半、または移動後半であることなどを判定することができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 9
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 9
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

本発明の物品払出方法は、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンを複数備え、前記複数のレーンにおいて物品を払い出すタイミングを略同期させて物品を払い出すか、1つのレーンのみを用いて物品を払い出すかを選択可能であり、1つの積層物品列における物品が空となった場合に、同レーンの物品を収納する他の積層物品列を払い出し可能な位置に移動して払い出しを行う物品払出機の物品払出方法であって、1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、払出動作選択手段が物品の払い出し動作を選択する払出動作選択ステップと、前記払出動作選択ステップで選択された動作に基づいて、物品払出手段が所定のレーンの積層物品列に積層された物品を払い出す物品払出ステップとを備えたことを特徴とする。

【手続補正 4 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

この発明によれば、払出動作選択ステップにおいて、1つまたは複数のレーンが物品を払い出し不可能な状態の場合に、所定条件に応じて、物品の払い出しに費やす時間が短くなる、つまり払い出しを早く行うことができる払い出し動作を選択することができる。また、レーンには、複数の積層物品列を直線的に配置して構成されたもの以外にも、例えば、ドラム式の外周部に複数の積層物品列を配置して構成されたものであってもよい。また、物品として、例えば、遊技ホールなどで遊技媒体と交換される特殊景品などが挙げられる。

【手続補正 4 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

また、本発明の物品払出方法は、前記払出動作選択ステップにおいて選択される動作が、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであることを特徴とする。

【手続補正 46】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

この発明によれば、払出動作選択ステップにおいて選択される動作が、物品の払い出しに費やす時間を短くするために、物品を払い出し不可能な状態のレーンが物品を払い出し可能な状態になるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行うか、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行うかであるので、物品の払い出しに費やす時間が短くできるいずれかを選択して、払い出し動作を実行することができる。

【手続補正 47】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

また、本発明の物品払出方法において、前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づくものであることを特徴とする。

【手続補正 48】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動段階に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。この移動段階は、例えば、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンが、物品の払い出しを可能とするために移動している場合における、複数の区分された段階である移動段階、すなわち、移動モード、移動させている駆動機構の種別、移動している積層景品列の種別、移動位置、およびレーンを移動させるステッピング駆動モータなどのステップ数などに基づいて判定される。

【手続補正 49】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

さらに、本発明の物品払出方法において、前記所定条件は、物品を払い出し不可能な状態のレーンが、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づくものであってもよい。

【手続補正 50】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするための所定の位置への移動動作における移動時間に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。この移動時間に基づく選択は、例えば、同一物品を積層して収納した複数の積層物品列を有するレーンが、物品の払い出しを可能とするために移動している場合における、予め設定された全移動時間に対して、どの程度の移動時間をすでに費やしたかなどに基づいて行われる。

【手続補正 5 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

例えば、予め設定された全移動時間に対して、すでに半分以上の移動時間を費やしている場合には、このレーンが物品を払い出し可能となるのを待って、物品を払い出し可能な他のレーンからの物品の払い出しと同期させて物品の払い出しを行う設定の払い出し動作が選択される。また、例えば、予め設定された全移動時間に対して、まだ半分にも満たない移動時間の場合には、物品を払い出し不可能な状態のレーンからの物品の払い出しを行わずに、物品を払い出し可能に準備されているレーンからのみ物品の払い出しを行う設定の払い出し動作が選択される。

【手続補正 5 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

また、本発明の物品払出方法は、物品を払い出し不可能な状態のレーンを、物品を払い出し可能な状態に移動するレーン移動装置が複数の移動部から構成される場合において、前記所定条件は、作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別によるものであることを特徴とする。

【手続補正 5 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

この発明によれば、物品の払い出しを可能とするために作動している移動部の種別および作動しているレーンの積層物品列の種別に基づいて、物品の払い出しに費やす時間を短くする動作を選択することができる。例えば、現在移動している移動部の種別に基づいて、物品の払い出しを可能とするための移動状況が把握され、例えば、所定の移動部が作動している場合には、移動前半、または移動後半であることなどを判定することができる。

【手続補正 5 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 4
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 6 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 4
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 7 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 8 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 9 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 9 1
【補正方法】削除
【補正の内容】